



活動内容のご紹介

コロナ禍を受け、私たちを取り巻く社会・ビジネス環境が目まぐるしいスピードで激変し、あらゆる産業や業界、市場が根底からの再定義を求められ始めている混とんとした時代に突入しています。

人財交流委員会では、実践リーダー向けの研修を用意し、このような時代に即応できる実践リーダーの育成活動を続けています。

過去には、「新たな価値を生み出すビジネスモデルを考えるためのイノベティブ

思考」、「社長の右腕となる幹部候補を育てるための経営戦略策定方法」、「不確実性に即応するためのシステムズエンジニアリング」など、毎年、会員の皆様に興味を持っていただけるテーマを設定し、フレームワーク、事例、思考方法などを学んでいただきました。

講義だけではなく、地域・会社・職位・立場が異なる4～5人のグループ単位でチーム活動を行うことにより、様々な考え方、知

識、経験の共有、及び、成長志向の実践リーダー同士のネットワークを構築していただきました。研修終了後数年経っても、この繋がりを大切にしているチームも有り、1年かけてチーム活動を行い築き上げた絆はより強いものになっているようです。

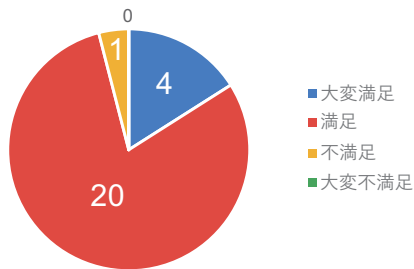
この活動を継続することで、会員企業の皆様の成長、さらには、会員企業の繁栄に貢献したいと考えています。

(人財交流委員長 安藤 亘)

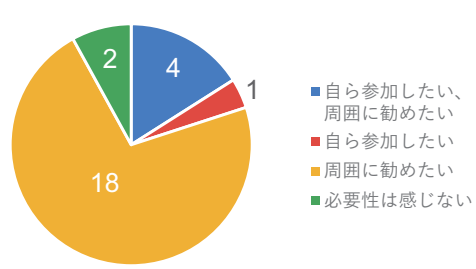
■2021年度 成果報告会(オンライン開催)受講者アンケート結果

テーマ▶「アフターコロナ時代に即応する実践リーダー“協創”プログラム」
“新たな価値を生み出すコンセプトをデザインする”

研修の満足度について (単位：人)



来年度の参加について (単位：人)



2021年度受講者へのアンケートの結果、ご回答いただいたほとんどの方に満足のいく研修だったと評価をしていただきました。「多くの設計手法を学ぶことができた。現場にも必要に応じてどんどん活用したい」、「他社の方と議論することができ、普段と違う視点を知ることができた。よい刺激になった」、「多様な思考方法や、想定以上の気付きを得ることができた」、「イノベティブな思考の助けとなる様々な手法を

学べた」などのコメントをいただいております。受講者の成長に繋がっています。

また、2022年度の研修への参加についても、ほとんどの方に「周囲に勧めたい」または、「自ら参加したい」と高評価をいただきました。成果発表会を視聴された上司の方からも「周囲に勧めたい」とのコメントをいただいております。

コロナ禍の影響により、2020年度からは、オンラインでの開催となり、「感情が伝わり

にくい」、「話すタイミングが難しい」などのマイナス面もありましたが、「移動しなくてよいので、業務への影響を最小限にできた」、「業務が多忙でも、チーム活動を行いやすかった」、「オンラインホワイトボードツール(MIRO)を使用すれば、互いの意見が伝わりやすかった」、「毎回、録画データが公開されるので、復習ができた」などプラス面も多くありました。

2021年度受講者のご感想(成果報告会優勝チームの皆様)

2021年度の実践リーダー研修の成果報告会で優勝した「心喜一転」チームの皆様にご感想をお聞きしました。

「チームの雰囲気もよく、メンバーの方の柔軟な発想にも助けられ、今回の成果にたどり着けたと感じています。」
株式会社ビッツ 高木吉康

「この研修を通じて、様々なフレームワークや手法を用いながらチームで考えることの効果を感じることができました。」
ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ株式会社 大野貴正

「報告会を含む全5回の講義で様々な手法や考え方を学んで実践でき、とても貴重な経験ができたなと感じます。」
株式会社Bee 谷本舞耶

「7月から3月の成果報告会までの9か月間で打ち合わせを何度も行い、あでもないこうでもないといくさん議論を重ねました。チームメンバーは支部も会社も何から何まで異なるので、都合を合わせるのも大変でなかなか全員が揃うことはなく、思うように議論が進まないときもありました。」

最後の最後で今まで考えていた案をひっくり返して一から考え直すことになりましたが、最終的には納得できる発表ができ、それが優勝という結果

に繋がったのだと思います。他社の方と密に議論をして何かひとつのソリューションを考えるという機会は珍しいものだと思います。確かに大変ではありましたが、それと同時に非常に有意義な時間を過ごすことができました。議論が進まず立ち止まった時間も決して無駄ではなく、それもまたひとつの大きな学びとなりました。受講してよかったなと思います。」

「心喜一転」チームメンバー一同

「他社の方々と一緒に受講した講義及びミーティングを通して意見を出しながら、学んだ手法を生かすことができました。」

株式会社ウォンツ 田原ジェシカサユリ

「他社の方々と一緒に研修で学んだ手法を用いて新ソリューションを考えるのは貴重な体験であり、自社でも活かそうと思います。」

株式会社ステップワン 大寺宏樹

2021年度の成果報告会の様子は、以下のURLからご確認ください。

https://youtu.be/d_b1u0bd4VU



■2022年度 受講者募集 (後日、事務局より詳細をご案内)

テーマ▶「次世代を担う実践リーダー”協創”プログラム」
「新たな価値を生み出すビジネスをデザインする」

【講師】 関西学院大学専門職大学院
経営戦略研究科
清水 詠氏

●目的

- ・"協創"アプローチから新たな価値を生み出す"ビジネス"をデザインするスキル体得を通じ、次世代を担う実践リーダーを育成する
- ・地域・企業・職位・立場を超越した、実践リーダーとして有用となる、"協創"に繋がる相互ネットワークを醸成させる

●対象

- ・それぞれの実践の場で、自社・自身の成長を本気で考え、日々格闘している実践リーダー(職位・立場・JASA会員有無は問わず)(過去の研修参加者で、反復的に考え続ける鍛錬、及び新たなネットワーク醸成を図りたい方も受講可能)

●到達ゴール

- ・新たな価値を生み出す"ビジネス"をデザインするために必要な"考え方"と"やり方"を、チームによる"協創"アプローチを通じて体得している
- ・その"協創"アプローチを通じてデザインされた、新たな価値を生み出す"ビジネス"を、社会・地域・市場・顧客に問い、そのフィードバックから次へ繋がるアクションを主体的に見出し、チームで継続して検討し始めている
- ・この新たな価値を生み出す"ビジネス"が、自社におけるビジネスとどのように関連されるのか、各種資源・資産をどのように活かしていけるのか、また、自身の実践の場でどのように取り組んでいけるのか、について考え始めている
- ・地域・企業・職位・立場は違えど、成長志向の実践リーダー同士の新たな繋がりが醸成され、共通言語に基づく相互相談の関係が醸成されている

●実施方式

- ・計4回のワークショップ(各回13:30~17:00)、中間報告会(第1回と第2回の間)、最終発表会(第4回目後)の計6回の開催
- ・各回の実施方式は、完全オンライン形式(リアルタイム配信:Webex, ディスカッション:Miro, コミュニケーション:Slack)
- ・4~5名を1チームとして組成(事務局にて事前設定)し、このチームで、着目するテーマ設定からビジネスのデザインまでを"協創"アプローチで取り組む
- ・各回での実施日以外のインターバル期間に、チームで適宜、討議・調査・分析・検証に取り組むことが前提

